滿洲日報
夕刊
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所　株式會社滿洲日報社

北支問題の重要會議
板垣參謀副長の來連を機に
將星星ヶ浦に集まる

關東軍では板垣參謀副長の大連行を機會として折柄大連に集まりつゝある土肥原奉天特務機關長、佐々木軍政部顧問、儀我山海關特務機關長、酒井北支駐屯軍參謀長、大迫天津、花谷濟南、影佐上海各駐在武官等北支各地駐剳の各軍部代表者を四日から星ヶ浦星乃家に招待し重要會議を開き北支の重要問題、卽ち通車、通郵、設關等の條件につき板垣少將はじめ石本大佐、河野中佐等から關東軍としての方針を傳へ各機關代表からそれ〴〵現地に於ける情勢につき報告及意見の陳述を行ひ相互の連絡上遺憾なきを期するところあつたが四日は旅大各地歷訪、五日旅大官民代表をヤマトホテルに招待し六日歸任の豫定である

南軍司令官

【新京電話】南軍司令官は三日上野高級副官、林少佐、名波副官等を帶同午後二時鄭國務總理を公館に訪れ新年の賀詞を述べ次いで午後二時三十分津田海軍部司令官を訪問同樣賀詞を述べる所あつた

重要懸案歩み寄る
三日の第四次細目會商で
北鐵交涉一大進展

【東京四日發國通】北鐵讓渡交涉の東郷歐亞局長、カズロフスキー兩氏の第四次細目會商は三日午後六時より四日午前零時二十五分に至る迄六時間以上に亘り終始熱心に討議を重ねたが最後的解決に至らず更に四、五日中に最後の會談を行ふことを申合せた、然し乍ら此日の會談では從來兩者間に懸案となつてゐた重要問題は步み寄りを示し今後更に一、二回の會談によつて最終的會談に到達すべき好轉振りを示した、卽ち三日の會談で進展した交涉の細目は次の如くである

一、保障問題　北鐵讓渡資金支拂を日本政府で保障する問題は從來最も難關視されてゐたものであるが三日の會談では全く解決し右條項に關する案文起草すら全部的に完了した、その趣旨はソ聯側がこれまで主張した如く日本銀行團のソ聯側に對する直接保障要求を撤回して單に日本政府の全般的保障で滿足することゝなつた

一、物品價格裁定問題　物品價格裁定方法は日本案に從ひ國際仲裁案は絕對的に排除することに兩者の間に完全に意見の一致をみた

一、從業員退職金問題　退職金支拂年限に就いては從來ソ聯側は一年半を主張し日本側は二年を主張してゐたがこれは大體日本案に接近したもの、尙ほ全般の退職從業員の恩給支拂問題と共に次回までの研究事項とすることになつた

讓渡正式調印
一月下旬か二月上旬

【東京特電四日發】北鐵交涉は今後兩三回の會議によつて最終的解決を見るべく期待されてゐるが交涉成立の上は我政府から滿洲國政府に對して「調印されたし」との通告をなす順序であつてそれまでには今後尙三、四週間を要する見込みであるから讓渡正式調印は一月下旬又は二月上旬の豫想である

再び聲明して
從業員動搖防止

【新京電話】北鐵讓渡交涉成立近しとの報に、滿洲人、白系露人等北鐵從業員の中にはソ聯側の宣傳に乘つて北鐵接收後は日本のために職を奪はれ生活を脅かされると誤信し相當動搖を來して居る模樣である、右につき滿洲國交通部當局は嚮に聲明書を發して誤解の一掃を期したが、更に當局では明確に表明すべく近く交通部大臣談話の形式を以て聲明を發する事になつた、その要旨は

滿洲國は北鐵接收後赤系從業員に對し原則として本國に送還せしむる方針である、但し滿洲國人、白系露人にして引續き誠實に勤務する者に對しては特に既往の地位を尊重しその生活を脅かさざるやう接收すべく考慮中である

といふのである

政始の儀
御取止となる
宮中の御都合に依り

【東京四日發國通】四日恒例の政始の御儀式は宮中の御都合に依り御取止めとなつたので今日午前宮中で行はれる筈の初閣議は自然取止めとなつた

宮中元始祭

【東京三日發國通】宮中三日の元始祭は午前十時より宮中賢所、皇靈殿及び神殿に於て嚴かに行はせられ、皇族方を始め奉り岡田首相一木樞相以下文武官參列、立花掌典次長恭々しく祝詞を奏したる後三條掌典長が天皇陛下の御代拜を津輕女官が皇后陛下の御代拜を奉仕し、次いで皇族方並に諸員の拜禮があり、御祭典を終へさせられた

惱める門戸開放主義
—經濟協定の提唱—
【上】　岸田英治

一

滿洲國と機會均等、門戸開放主義とは法理と實際との兩方面に於て幾多複雜機微なる問題の惹起せらるゝ觀念が當初から多分に豫想せられたのである。端的に云へば滿洲國が建國に方り其の外交基調として中外に宣告せる處は頗る堂々たるものであつたが、抑々滿洲國生ひ立ちの由來と其の使命とに顧念するものは國際法規に擧げられつゝある「外交熟語」を殆ど羅列することに依り或は自ら其の措置に窮せざるを得ない事態を惹起せずやとの批判を耳にせぬでもなかつたのである。現に私達も各種の問題に就いての管見を語る度每に、徒らに險を冒して捷徑を求むることを勿れ、焦慮して疾走すること勿れ、速力は素より勝敗の一大要素、一の速力は十の秘訣を網うて餘りある場合なきに非ざるも、而も迅速は必ずしも、成功の絕對的秘訣ではない。一緩一急其の宜しきを期して初めて能く活機に通ずるを得る、と繰返し語つて來たのであつて「滿洲國は承認を焦躁せず」とも敢て提唱せる事もあつたのであつた。

還次、石油計畫を契機として門戸開放問題が又しても蒸返されつゝある。私は此の問題に就ては夙てより獨自の私見を公けにしたのであつて、今尙ほ其の根本義に何等の變更を加ふるの必要を認めないのであるが、其の要旨を語るに先つて、最近發表せられた二、三先輩の所說を檢討して見たい。外交時報の半澤氏は

苟くも獨立國家を建立するに方り、豫じめ外國に門戸開放、機會均等を聲明するが如きは不見識極まるものであり、若し又支那に關する前世紀の古證文を總括的無制限的に踏襲遵守するの考へであつたとするならば、滿洲國は初めから文明國の威信を放棄せるものと謂はざるを得ない。何となれば國家の對外義務は條約に依て規制されるものであるから、滿洲國の外國に與ふべき利益は滿洲國を承認する國に對し最惠國條款の適用の利益を與ふれば足りるのである。然るに滿洲國が獨立の當時建國の喜びに興奮せる餘り、上記の如き不用意の言辭を使用せるが爲に外國をして無益の抗議を提出せしむる餘地を與へたのである

と謂ひ、東京帝大神川博士も

完全なる獨立權を主張する滿洲國が門戸開放を宣言するが如きは、自國も支那の如き不完全なる國家なることを自認するものであつて、自己の威嚴を自ら損ずるものと謂はればならない

との意見である。何れも一應尤もではあるが、一獨立國が其の獨自主權に基いて門戸開放を宣言することは、必ずしも自からの威嚴を損傷するものとは斷言出來ない。殊に斯の如きは自ら不完全なる國家なることを自認するものだとの所說に對しては私達としては聊か同意を表し難い。寧ろ私達は有力なる先覺が此の際[illegible]この種の見解を力說せざるべかざる所以を聊か解するに苦しまざるを得ないのである。

二

滿洲國と九箇國條約との關係を今更らしく力說する向も尠くないが要するに九國條約上の義務は新興の滿洲國政府において繼承すべき限りではないと謂ふに在る。而して此の論者に從ふも、九國條約上の義務は之を繼承せずとするも滿洲國は其の建國に方り、一方的ではあるけれども、諸外國に對し既存の義務を尊重し特に門戸開放、機會均等主義を遵守すべき旨を宣言し、且つ日本を始め十數國に對し之を通告した關係上滿洲國が一方的に九國條約上の義務を引受けたものと解すべきや否やは問題であると云ふ。

凱旋の菱刈將軍
五日朝、大阪驛を出發

【神戸三日發國通】前關東軍司令官兼駐滿全權大使菱刈將軍は麗かに晴れ渡つた新春の二日午前八時丸山副官以下七名の隨員を帶同靈船扶桑丸で神戸に晴れの凱旋をした、神戸港内第四突堤には閑院參謀總長宮殿下御名代後宮少將、陸相代理河西少將、白根兵庫縣知事を始め盛んな出迎へを受けて岸壁に到着するや同艦サロンで御名代後宮少將より令旨の傳達あり、甲子園ホテルに投宿し同所三泊、五日午前六時五十五分大阪驛發途中熱海に寄り七日午前十時十分東京驛着直に參内在滿事情を奏上する筈である

滿鐵資金政策と
改組の重大性
大淵滿鐵理事語る

【東京特電四日發】大淵滿鐵理事は滿鐵の資金政策に關し左の如く語る

在滿機構改革の次は滿鐵改組だといはれてゐる、自分は一理事だから兎や角言ふを好まぬが滿鐵改組がさう

簡單 に行はれるもので無いことは明かである、それは一昨年の問題の經驗で分つてゐる筈だ、滿鐵で一番大事なことは滿洲への投資、卽ち資金を要することで、それを悉く內地で調達し株金拂込みや一時借入れのほか多數の資金は社債に依つてゐるのだから內地財界特に金融市場の信用が第一である、一度滿鐵に對する信用が缺けたならば或は資金調達が不可能となるであらう、而してその

信用 は既往三十年の歷史的業績を主眼とし會社の組織や事業の範圍性質並びに株價の高低なども悉く打算に入れて一切の實體を基調としたものに依つて保たれてゐるので一朝改組問題などが起るとその內容は第二として先づこの基調に動搖あるものとして忽ち衝擊を與へ信用が動くことになるから餘程注意せねばならぬ、無論改組が妥當適切にして善良であり、一般もさう認め

財界 もまた肯定するならば問題は無いが愼重の上にも愼重の態度を要する、資金關係だけの問題で考へてもまかり違へば政府が國庫資金を以てこれを賄ふだけの決心が無くては政府單獨の意嚮や方針だけでは遂行し難いであらう、それにしても株主關係がまた重大であるから端的に政府獨自の方針で改組を行ふと假定したら理論的には民間株を無くして全部政府出資と見た上で國庫資金に依る方法にならればならぬが今日民間資本を

滿洲 の經濟開發に向けやうとする際そんなことは言ふべくして行はれない、兎に角滿鐵の信用がどの程度に厚いかといふことは自分が永く東京支社にゐて常に資金調達の實際の衝に立つて見て感じてゐるのでその綜合經營の妙味が遺憾なく財界殊に金融界に受け容れられてゐるといふので特別の資金調達も豫定通り出來た、その後高橋財政に變つて

景氣 もまた盛返へしてからは社債もトン〳〵拍子に出來る有樣で無論金融界の情勢を見定めることが最も大切なことであるが滿鐵といふもの、經濟的信用の基礎が堅固なことがツクヅク感じられる、昭和八年の社債借替へだけでも滿鐵は金利で二百萬圓から得をしてゐるので現實に消極的の利益增加である、鐵道や石炭は言ふまでもなく大事な事業で滿鐵の收支の大宗であるが一方この資金政策といふものが餘程大事で

社債 や借入金にしても金額が大きいだけにその利廻り如何は忽ち何十萬、何百萬圓の損得になるから一年二億の資金を要する滿鐵としては非常に重要なことで從つて改組問題がこの資金政策に影響することの大なることは第一に考へて貰はればならぬ重要事であると思ふ

國策審議會具體案
八日正式決定
四日の初閣議取止め

【東京三日發國通】政府は四日の政始めの御儀御取止めあらせられたので、四日の初閣議は取止め八日午後二時より初閣議を開き各特別會計豫算を決定し、更に岡田內閣成立以來の懸案であつた內閣審議會の國策審議會具體案を正式決定すると共に、所要經費（昭和十年度追加豫算）を休會明け議會に提出する事となつてゐるが、內閣審議會には政友會が反對してゐる關係上、この豫算に對しては政府政友の間に相當緊張した場面を展開すると同時に政友會內の贊否兩論の對立等も惹起する虞あるためこの問題の成行は頗る重視されてゐる

加州大學に
新渡戸講座開設

【東京三日發國通】日米親善の歷史に大きな足跡を殘した故新渡戸稻造博士と最もゆかりの深かつた北アメリカ、カリフォルニヤ州の加州大學に新渡戸講座を設ける企てが同大學總長スクラウル博士から提唱され日米兩國の關係文化團體はその實現に奔走してゐたがこの程新渡戸講座の開設基金として我が外務省國際文化振興會から夫々一萬圓日米關係に最も交涉の多い富豪文化團體から六萬圓合計八萬圓を寄附する事に決定したので愈々來る四月の新學期から開講する事になつた

板垣參謀副長
新任挨拶に來連

板垣關東軍參謀副長は第二課長石本大佐並に河野中佐、松村大尉を同伴三日午後六時半着あじあにて旅大方面に新任挨拶のため來連し

メッセンジャー
特別速達の豫算
遞信省に先鞭をつけた
近藤經理課長談

大藏省と豫算折衝のため上京中だつた關東遞信局經理課長近藤儀一氏は三日入港たこま丸で歸連したが船中語る

今回の新機構によつて遞信局がばら〳〵になるやうだつたから急遽上京して陸軍省初め參謀本部で現地の實情を說明したところよく諒解されて遞信局官制は現在のまゝといふことになり、電々の監督關係については遞信省から人が新京に赴いて監督することに決定した、大體今度の上京は豫算折衝のためであつたが既に新聞で報じた通り遞信局關係の分は殆んど通過したことは非常に喜ばしい、これによつて航空無線の施設完備は軈て北支、北滿に對する輝しい航空飛躍のワンステップだと信ずる、また全國に例のないメッセンジャー特別速達の豫算をとつたことは大いなる成功だらう、東京を中心にした靜岡、水戸、甲府といつたところは從來一ブロックを形成して非常に小包の送達の發達したところだが、小包の送達に伴ひ郵便物が勢ひ速達のやうな形で扱はれ易く通信事務は政府がこれを所管するの規則に縛ばられてかういふ郵便物の速達は發見次第どし〳〵告發されてゐた、これは官吏の頭が非常に古い、大衆の要望に副ふことこそ必要ではないかと大いに力說した結果、面白い考へだと豫算がされたのでこれは遞信省に先鞭をつけたものとして愉快だ

晒布制限令
蘭印政府發表

【バタヴィヤ三日發國通】蘭印政府の發表に依れば本年度晒綿布制限令は一ケ年輸出量一億二千八百八十五萬ヤードと決定、其の內和蘭本國より輸出すべき數量は六千三百七十五萬ヤードで全體の四割五分五厘に當る

うすりい丸船客

【門司特電三日發】五日入港豫定うすりい丸の主なる船客諸氏
元財務局長中村孝次郎氏、東京工場協會理事戸田千葉氏、正金銀行西一男氏、會社員木村醇氏、船舶工業宮地民之助氏、滿鐵囑託貝瀨謹吾氏、關東遞信局長中村純一氏、遞信省郵便局長久野茂氏、陸軍航空兵中佐立松良次郎、田中知平

うすりい丸

五日午前八時二十分大連港外着豫定

人事

▲日下辰太氏（關東局司政部長）三日あじあにて赴任
▲御影池辰雄氏（關東局警務課長）同上
▲柴田規矩三氏（三井物産本社業務課員）七日うすりい丸にて赴任豫定
▲木村鋭市氏（日滿會商顧問）三日午後二時半神戸入港のジョーホル丸で歸朝した
▲森岡正平氏（吉林總領事）四日午前八時着列車にて來連同上ヤマトホテルへ投宿
▲中島俊雄氏（奉天郵政管理局長）同上
▲山田吾一氏（滿鐵瓦房店地方事務所庶務係長）同上歸任
▲春日義信氏（本社々員）同上新京へ
▲中富清美氏（滿鐵鐵道部港灣課營業係主任）同上北行
▲谷竹次郎氏（營口海邊警察隊特務科長）四日午前九時發あじあにて歸任
▲市瀬亮氏（洮南鐵路局貨物科長）四日正午發はとにて歸任
▲板垣征四郎氏（少將關東軍參謀副長）三日あじあにて來連
▲中村純一氏（關東遞信局長）五日入港うすりい丸にて着任
▲近藤儀一氏（關東遞信局經理課長）三日入港たこま丸で歸任
▲奥村愼次氏（滿鐵計畫部業務課長）四日出帆ばいかる丸で內地へ

哭くな青春 (84)
三上於菟吉
吉部二郎 畫

事務所で（その十三）

野山は、こゝの家でも女中たちが、けい子を眺めて、とかく、何處の馬の骨だらうといふやうな、輕蔑を交へて表情を浮べるのを見ると、ます〳〵、いはゞ人道的な腹立たしさを覺えて來るのだつた

そのうちに、食卓の用意が整ふと、彼は、自分の手で、けい子の皿に、鍋のものを取つてやつたり酌までしてやつたりした。そして顏馴染の女中たちが、揃つて挨拶に出て來ると、わざとらしい笑ひを見せながら、

「君たちに紹介しようか。この子は、僕の姪なのだよ。今まで田舍にゐたのだが、今度はる〴〵出京して來たのだ。けい子、この人たちには、僕が何時も世話になつてゐるのだから、よろしくお禮を言つておくれ」

けい子は、嬉しげに微笑して、頭を下げて見せた。

あたゝかい外套を着、あたゝかい部屋に通され、あたゝかい食卓に向ふことの出來た彼女は、何時か飢や、貧しさや、侮辱や、一少女が耐へ忍び得る艱難にやつれたこけ落ちた面影から、快活な、のんびりした顏色に、甦へることが出來てゐた。

境遇が、彼女を賤しく、乏しく見せてゐたとはいへ、街のむすめも、また人の子だつた。ある種の幸福が、彼女の心に、春をもたらす時、結局、良家の處女と、さまで變りがある筈がなかつた。

野山の、可成り元氣のいゝ日常生活を知つてゐる女中たちは、どうせ、わんさ女優か、文學少女か女給かを、連れ込んで來たのだと思つてゐたのに、案外、堂々と自分の姪だと紹介され、しかも、當の姪が、おさなしやかな態度で、會釋をもて見せたので、むしろ度膽を拔かれたやうに見えた。

彼女らは、揃つて、このストリート・ガールの前に頭を下げ、野山に、日頃から贔屓になつてゐる禮さへ、述べればならぬのだつた。彼女らも、姪が同席と知つては、いつものやうに野山の前に、たらふく呑んだり、笑つたりする事も出來かねて來た。

「御用がございましたら、お呼び遊ばして——」

なぞと、急に、丁寧な言葉になつて、彼女らは、階下へ去つた。

野山は、けい子と、たつた二人になると、突然、側にあつた大きな瀬戸物に銚子の酒を、どく〳〵と滿たして、吃驚して見つめる、けい子には構はず、あふりつけた。

彼は、熱い息を、あらしのやうに吐いた。

「けい子さん、これが人間生活なんだ」

と、彼は、瞳を見据ゑるやうにして、呟いた。

「見給へ、あの洋服屋の女店員やこの店の女中たちを。あいつらは同じ女性の君が、自分たちと同じ境遇であれば、何かと批評したがるし、自分たちより、より不幸な存在だと思へば、輕蔑するのだ。そして、自分たちとは全然違つた別の雰圍氣に生きてゐる者だと知る時、突然、尊敬しさへする。あいつらに、何年生きてゐようと、人生を理解する目が開くことがあり得るだらうか。眼覺めてない」

さう言つて、野山は、もう一本の銚子を、瀬戸物にうつして、おどおどと心配さうに、眺めてゐるけい子の方へ、なだめるやうな微笑を送りながら、

「心配しないでくれ給へ。僕は醉つていふのぢやないのだ。だが、人生の悲慘を、あり〳〵と目の前に眺める時、どんなに泥醉してゐても、僕は素面に返つて、寄さめざるを得ない。人間同士は、なんだつて、かう無理解なのだ。無理解な所から、凡ゆる不幸が釀し出される。けい子さん、君も僕と、交際ふ氣なら、僕のこの憂鬱を、何時も知つてゐてくれなければ困るよ——」

親鸞聖人 (89)

登岳篇

吉川英治作　山村耕花畫

鳴らぬ鐘(一)

霧がくると、窓の外は、海のやうに青かつた。

霧が去れば、机の上に、仄かな峰の月が映す。

範宴は、宿房の一間に、坐つてゐた。机のうへには、儒學の師、日野民部から學んだ白氏全集が載つてゐる。これは、山へのぼつてからも、離さない書物であつた。

短檠の灯が、窓をあけておいても、搖れないほどに、夜は靜かなのである。——中堂の大厨の方では、あした朝の僧衆のために、たくさんな豆腐を製つてゐるとみえて、豆を煮るにほひが、何處ともなく流れてくる。

「誰です?」

範宴は、机から、板敷の方を振り向いた。

かたんと、音がしたやうであつたが、返辭がないので、

「栗鼠か」

と、つぶやいた。

よく、板の間を、栗鼠が後足で跳つてあるく。

時には、巨きな鴿が來たり、床下から、山猫が、琥珀色の眼で、人の顔を、のぞきあげたりする。食物が、失くなることは、度々であるし、狐の尾に、衣の裾を振はれることは、夕方など、めづらしくない。

(怖い)

山に馴れないうちは、範宴は、恐ろしくて、幾たびも、都の灯が戀しかつた。

座主から、

(そんなことでは)

と、笑はれても、本能的に、恐かつた。

座主は又、

(世に、恐いものがあるとすれば それは人間だ。人間に、恐いものがあるとすれば、それは自分だ。自分の中に棲む、狐や、鷲や栗鼠は、ほんとに恐い)

と、云はれた。

範宴にも、すこし、その意味がわかる氣がした。

稚い者に話す時には、稚い者にもわかるやうに、よく嚙んで話してくれるのが、慈圓座主の偉さであつた。

都といふ話が出た時に、

(範宴——、よう見えるか)

と、或時、比叡の峰から、京都の町を指さしていふ。

範宴が、うなづいて、

(見えまする)

と答へると、

(何が)

と、訊れた。

(町が、加茂川が、御所が。——それから、いろんなものが)

(もつと、よく見よ)

(遠いから、人は見えません)

(その人間の、生きる相、亡びる相、爭ふ相、泣く相、榮える相、血みどろな相——見えるか)

(そんなものは、見えるわけはありません)

(いけない。……それでは、何も見える事にはなりはしない。おまへは、世間にゐれば、世間が見えると思つてゐるだらう)

(ええ)

(大違ひだ。——魚は、河に棲んでゐるけれど、河の大きな相は見えないのだ。——悠久な、大河の源と、果てとを見極めるには、魚の眼ではいけない)

(では、何の眼ですか)

(佛の眼)

(こゝは、河の中ではありませんれ)

(叡山は、河の外だよ)

範宴は、何か、うつすらと、敎へうけた。

それからは、都の灯を見ても、戀しいと思はなかつた。

えいぐわとえんげい●

魔獸タイガー

映樂館の猛獸映畫

「マルガ」の製作者クライド・エリオットがマレイ半島の猛獸爭闘を描いたもので「マルガ」の姉妹篇ともいふべきもの、但し今回は「マルガ」に見た如き記錄映畫第一でなく大衆的な興味も相當織り込んであり、或る意味で大分商賣氣を出したものといつてよからう

米人探検家が助手と一人の女性を伴つてマレイ半島に猛獸狩に入る、虎豹その他の猛獸を狩りたてゝゐる内に殺風景な蕃地にかける唯一人の白人女性を繞つて探検家と助手とが爭ひ、探検家は最後に象に踏みつぶされ、助手と女とはジャングルを逃れ出る、この助手に扮するのがケイン・リッチモンド、女はメリマン・バーンズが扮してゐる

問題の猛獸爭闘であるが、最も興味のあるのは虎と大鰐、大とかげと熊猫、マレイ熊と豹、水牛と大蛇の取組であるが、面白いのは猿と大がにの爭ひ、猿かに合戰を如實に見せてくれる、以上の爭闘は相當見なれてゐるとはいへ尙一般を戰慄的な氣分に誘ひ込むに充分なものである、助手が大蛇に卷つかれる場面は描寫に幾分無理があり、勿論トリックではあるが漫然と見てゐる分には充分凄味を持つてゐる

この一篇の特色は前述の如く單なる記錄映畫でなく劇的な興味も相當持つてゐるが、猛獸記錄映畫として單なる記錄映畫の方がよいか、劇的がよいかは見る人のレベルにまかせておく　—S—

正午迄の入場は二十錢引き　映樂館サービス

映樂館では四日より第二週に入り映畫は新興キネマ特作オールサウンド版「花咲く樹」の完結篇エマ子の卷、寛壽郎プロ新春特作オール・サウンド版「鞍馬天狗」三部曲大會、並びにフオックスの特作猛獸映畫「魔獸タイガー」の三大作を上映するが、第一週通り早朝興行優待サービスとして六日まで毎日正午までの入場者は二十錢づゝ割引すると

協同映畫第一作品『多情佛心』日活館二週上映

松竹蒲田から飛び出した岡讓二、江川宇禮雄、逢初夢子等の協同映畫社が日活と提携した第一回作品で、この三人が主演し、日活から杉狂兒、黑田記代、村田宏壽、高木永二が助演、監督は日活の阿部豐、キヤメラは碧川道夫、物語りは既に一般からよく知られてゐる里見弴の傑作

横濱の不良青年西山普烈は外人貿易商マッケンゼンの妾奥穪子と知り合ひ初めて純な戀を感じ二人で新生活に入るべく、辯護士藤代信之を賴つたが、いよいよ二人が横濱を離れる夜遂にマッケンゼンに發見され亂闘の結果、奥穪子はマッケンゼンの彈に、マッケンゼンは普烈の刄に倒れてしまう、普烈は藤代辯護士のすゝめに從ひ自首するが、温厚な藤代辯護士は愛人綾著お澄に裏切られた心の傷を押しかくして普烈の辯護に立ち、遂に法廷でたほれ、喀血して淋しく死んで行く、このことを獄中に知つて悲しむ普烈……

脚色の重點は普烈と藤代の性格描寫に置かれて、全然性格の異つた人間でもまごころには變りはない然もまごころは戀愛において一番多く現れるといふ點に主題が置かれてゐる、この狙ひ處は完全に大衆の興味を握る力を持つてゐるが更に阿部豐監督のメロドラマ的映出によつて一層の力を添へ、各階級のファンに喜ばれるやうに出來てゐる、阿部監督のメガホンは原作に押されたためか非常に統制力に滿ちてヤマ場の撮り方も巧で最近のものでは傑作に屬すものといへやう

岡の藤代、江川の普烈、逢初の奥穪子、高木のマッケンゼン、何れも巧みなるエロキューション指導を受けて熱演してゐるが中でも岡と江川の演技は流石に堂々たるもの、又逢初も非常に素晴らしい出來を見せてゐる、黑田記代のお澄は聲の代役を使つてゐるが、これは監督の周到なる用意と讃めることが出來るが、矢張り本人の聲でないと何となく間の持てぬ恨みがある

映畫的批評はともあり「多情佛心」の一篇は協同映畫社の第一回作品として充分讃められてよい力作である　—S—

若旦那日本晴れ

蒲田のオール・トーキー、主演藤井貢、栗島すみ子特別出演、中央館二週上映(寫眞は右端阪本武、中央藤井貢)「俠客曾我」と同時上映

大連各市場の初立會

大連各市場の初立會は恒例により一月四日前場より行はれた、この内特産市場は歐洲方面より久しく待望されてゐた買材料が入つたので俄然爆發的昂騰を示して新年相場らしい活況を呈し、昭和十年度の滿洲財界に一道の光明を與へた、これに反し錢鈔は最近毎年新春相場に昂騰する例を破つて本年は甚だ閑散裡に保合ひ、株式市場も内地が暮相場の延長に終つたため活氣なく、麻袋は海外材料不變のため動かず、僅かに綿糸布が様變りの昂騰歩調に轉じた程度であつた

歐洲好轉の報に 特産市場暴騰
出來高も新記録を出す

新春四日初立會の大連特産市場は歐洲好轉の報に俄然色めき立ち、各種の材料入亂れて買氣殺到し、各品共一齊に暴騰を呈し、場面は活氣横溢して所謂爆發相場を示現した、即ち大豆は歐洲筋の買注文に外商及奥地筋の優勢買ありて十四錢乃至十六錢方の暴騰を演じた殊に現物大豆は三井、三菱、豐年實隆、日清等大手輸出筋の一齊買あり、油房筋又七百車の買物に合計一千車の記録的出來高を示した豆粕は大豆高を眺めたると奥地筋及び南支筋の買に昂騰を呈し更に騰を演じた豆油は歐洲及び上海高に三井の買進みあり、一擧に四十五錢乃至七十五錢高の猛騰振りで出來高も三萬三千五百箱の記録的數量に達し高粱亦各品高を眺めて奥地筋の買氣殺到して十六錢乃至十錢方の暴騰を演じた

十年度送炭調節高
滿鐵、獨自案を出さん

撫順炭明年度送炭決定に關してはさきに内地石炭聯合會側から滿鐵に規約變更があり聯合會側から滿鐵に如何なる提案がなされるか興味を以て眺められてゐたところ、この程聯合會長より滿鐵に對して正式に交渉があつた、卽ち内地石炭聯合會側ではさきの聯合會理事會において從來の曆年制を四月一日よりの會計年度制に改め三月末日に至る會計年度制に改めこれを四月―九月、十月―三月の不需要期、需要期の二期としこれが送炭協定を

一、九年度調節高
二、八年十月より九年九月に至る一ケ年間の實送高

右の兩者を基準として決定することゝなり既に内地聯合會加盟炭に對し夫々割當てをなしてゐたが滿鐵に對しても右の規約による送炭協定の諒解を求め滿鐵に於ては明年三月までの九年度送炭調節高の決定には右の提案を承諾した

卽ち右規約の適用によつて明年三月までの三ケ月間の送炭調節高は約五十萬瓲となるべく、九年度の調節高が三百十二萬五千瓲であるから本年度十五ケ月分の調節高は三百六十二萬五千瓲となつたわけで之に反し本年十二月末までの送炭實績は約二百七十萬瓲であるから明年三月までの送炭には相當の餘力が生ずることとなつた

たゞ明十年度分の送炭調節高の決定に對しても右の規約を適用せんとする内地聯合會側の態度に對しては滿鐵は承服出來ぬ模樣であり もとく右聯合會の會員でもなく從つて右の規約から束縛される理由はないので滿鐵においては十年度の送炭調節高に關する限り獨自の立場から提案をなす模樣である

黄塵

◇…「猪突猛進の歳」などゝ干支を持ち出すのも流行らぬ手だがシヤンく／＼と手を拍つて初立會をする習慣が殘つてゐるのだから多少の縁起をかついでもよからう。

◇…といつて理詰めに云へば一九三五年は聯盟脱退の效力が發生する國際危機の年、鬱陶しい環境は急に好轉するとも思へず。

◇…海軍々縮を蹴て先行暗澹とし て惡性インフレの危險もあり財界の風速計はぐんく／＼示度を高めてゐる有樣。

◇…猪突猛進どころか初立會は甚だ萎縮して氣勢揚らず縁起でもないこと夥しい。

◇…たゞ滿洲に於いては特産に海外から好材料が入つて來たので正月相場らしい相場が出たことがせめてもの慰めであつた。

市況（四日）

特産

買氣旺盛に 一齊奔騰

今朝初立會の定期は大豆は歐洲の好調に買氣旺盛で暴騰を辿り豆粕も相伴ひて昂騰を示し豆油、高粱も買氣旺盛に暴騰を示した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（暴騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	四五三〇	四六六〇	四五三〇	四六六〇
二月末	四五三〇	四六〇〇	四五三〇	四六〇〇
三月末	四六〇〇	四七〇〇	四六〇〇	四七〇〇
四月末	四六五〇	四七〇〇	四六五〇	四七〇〇
五月末	四六九〇	四七〇〇	四六九〇	四七〇〇

▲乾迪大豆　出來不申
出來高　四百五十五車

▲豆粕（昂騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
三月限	一四〇〇	一四〇〇	一三九五	一三九五
三月末	一四〇五	一四〇五	一四〇五	一四〇五
四月限	一四一〇	一四一〇	一四〇〇	一四一五

出來高　十一萬八千枚

▲豆油（暴騰）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一三四五	一三四五	一三四五	一三四五
二月限	一三七〇	一三七五	一三七〇	一三七五
三月限	一三七〇	一三八〇	一三七〇	一三八〇
四月限	一三八〇	一三八〇	一三八〇	一三八〇
五月限	一三八〇	一三八〇	一三八〇	一三八〇

出來高　三萬三千五百箱

▲高粱（暴騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇	四〇〇〇
二月末	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇	四〇八〇
三月末	四一一〇	四一三〇	四一〇〇	四一三〇
四月末	四一四〇	四一九〇	四一三〇	四一九〇
五月末	四一九〇	四二〇〇	四一九〇	四二〇〇

出來高　百五車

▲包米　出來不申

◇現物前場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（裸）（袋込）	四四九〇	四五八〇
出來高	千車	
普通大豆（裸物）（袋込）	四三九〇	四四四〇
出來高	五車	
豆粕	一三八〇	一三八五
出來高	四萬七千枚	
豆油	一三二〇	一三四〇
出來高	一千六百箱	
高粱	三九三〇	四〇三〇
出來高	七車	
包米	出來不申	

定期喰合高（廿九日入帳）

錢鈔

海外銀高乍ら 當市は保合

海外市況は倫敦銀塊現物二四片八分の五で四分の七で二分の一高、紐育は五四仙八分の七で二分の一高、孟買八分の三高、米英爲替一仙八分の一高、米日爲替三仙安、滙申一〇三圓九〇、滙煙一〇五圓七一七、大洋一〇八圓、上海日本向一二〇圓臺を眺めながら當市は閑散保合に引けた

◇定期前場（單位錢）

期近	寄付	高値	安値	大引
	一一七五〇	一一七六〇	一一七五〇	一一七五五

出來高　二百二十一萬圓

◇現物前場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一一六六〇	一一五六〇	九九九五
十時	一一七五五	一一五〇五	九八一〇
十一時	一一七五〇	一一五〇〇	九八〇五
十二時半	一一七五五	一一四五五	九七〇〇

出來高（銀對金七十七萬七千圓）（銀對洋七萬九千圓）

（前日對比較△印減）

	生産高	
大豆	五一二六車	△四〇九車
高粱	一一九二車	△三二車
豆粕	一八五四千枚	△三四千枚
豆油	一六一五百箱	△五百箱

豆粕生産高

四日	七八、〇〇〇枚	二五軒
五日	八三、〇〇〇枚	二五軒

株式

内地安を移し 當市も軟調

北濱定期は大株九四圓六十錢、大新九十一圓、鐘新百二十七圓、東新百四十一圓十錢東京短期は東新百四十一圓十錢、大新八十九圓四十錢、鐘新百二十五圓二十錢、日産百一圓九十錢と大納會の延長相場を現出して弱含みに終始し、當地もこれを移して五品十錢安、豆新同事に東新二十錢安と軟調を呈した

定期（單位十錢）

銘柄		當限	先限
五品	寄	二〇四	二〇五
	中		二〇六
	引	二〇四	二〇七
豆信	寄引		六二〇
同新	寄引		二二四
錢鈔	寄引		二二一
滿化	寄引		三一七
奉麻新	寄引		一八〇
滿興	寄引		二五七
製氷	寄引		二四二
同新	寄引		二四二
土木	寄引		二〇八
不動産信	寄引		八五

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二〇四	二〇五	二〇四	二〇五
新豆	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇
錢鈔	二二五	二二五	二二五	二二五
氷新	二二五	二二五	二二四	二二五
電々	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇
電乙	二二一	二二五	二二一	二二五

銘柄		先限
電々	寄引	一六三
同乙	寄引	一三六
滿鐵	寄引	六二一
同新	寄引	二六四
大新	寄引	九一〇
東新	寄引	一四〇八
鐘新	寄引	二六一六
安取	寄引	八七
大商取信	寄引	一七二
五品代行	寄引	二九七

豆

新春新立會のけさの市場は歐洲方面の大豆買氣の入報に色めき立ち各品共それぞ＼暴騰を演じ幸先よく活況を呈した▲大豆は歐洲の好調の報を入れて外商及奥地筋の優勢買に十四錢乃至十六錢方の暴騰を辿り▲豆粕は大豆高と奥地筋の買に昂騰を呈し豆油は歐洲及上海高に邦商の買氣旺盛で四十五錢乃至七十五錢の暴騰▲高粱も亦各品高に奥地筋の買氣殺到して十錢乃至十六錢方の暴騰振り▲定期につれて現物市場も意外の盛況で大豆は一千車の記錄的出來高であつた

銀

海外銀塊は倫敦四分の一、紐育二分の一高と昂騰し上海標金は軟弱だつたが▲當市は五、六兩日の休市を眺めて仕手薄く現物四十一安、定期二十錢高と保合つた▲昨年の初立會は米國の銀政策を買つて大暴騰を演じたのだがそれに比べると今年の淋しさ▲本當の相場は七日以降だが米國の銀政策も一服の態だし▲支那の政策も年内に引續き金融梗塞に對する政府の對策が捗々しくないので▲こゝらから新材料が出て來れば本調子は出て來まい

株

年内は年明け後の相場に望みをかけたがさて年も明けて見ると▲四日の初立會は北濱定期、東京短期ともにボンヤリで▲東新、大新、日産などの主力株は暮相場をそのまゝ移してほとんど波瀾なしに終つた▲當市も春高を見越して手持玉を仕舞ふとする仕手ばかり多くて買氣全く無く▲新しい擊析の音のみいやに賑かで内實は淋しい發會であつた▲こんな調子では春高相場が實現するのはまだく＼といつた感じがする

銘柄	寄付	高値	安値	大引
滿鐵	六三	六三	六〇	六〇
同新	二六	二六〇	二六	二六〇
土木	一〇三	一〇五	一〇三	一〇五
大新	八七	八九一	八七	八九
東新	一三五	一三五	一三四	一三五
鐘新	一二三	一二五	一二三	一二三
日産	一〇三	一〇三	一〇〇	一〇一〇
朝取	三三	三三	三〇〇	三〇〇
鞍取引				

（甲部）
五品代行二九二、商取一六九、奉麻新一七一、滿興二五三、安取八九

（乙部）
滿化三三三、精糧六一、製氷甲七六〇、東拓新九〇、金福七〇正隆舊二九〇、正隆新一五二、正隆二新七五、滿銀舊二九五、滿銀乙新三〇、滿銀丙新七四、鮮銀新一八〇、星ケ浦土地四四郊外土地七八、周水土地二九、不動産信託八七、大連火災一三三、滿洲製麻四四〇、滿洲紡績五八五、滿洲棉花一一〇、大連機械九八〇、大連機械新四二〇大連工業三九〇、大和染料二一二、撫順窯業一二八、日清製油二五一、日清製油新七六、滿洲鑛山藥一八五、湯崗子温泉九六北滿ペイント一五八、滿洲ペイント四九五、滿洲不動貯金七一大陽産業三二、東亞殖産四五

商品

●麻袋　休み中の海外材料はカルカッタ市場鐵筋二五、四分一と同事、青二八、四分一と不變で何ら新味がなかつたゝめ當地の休會明けも頗る冷靜で出來高はあつたが値段は殆んど變化がなかつた

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	一月限	三八六	一〇
同	一月限	三八七	一〇
同	二月限	三八二	一〇
同	同	三八三	一〇
同	同	三八一	二〇
同	同	三八〇	二〇
同	同	三八〇	一〇
同	三月限	三七〇	一〇
同	同	三八〇	一〇
同	四月限	三七五	一〇
同	同	三七五	一〇
同	五月限	三七〇	一〇
同	同	三七〇	一〇
同	六月限	三六六	一〇
同	同	三六八	一〇

出來高　十七萬枚

●綿糸布●　當市大納會當時に比し米棉は現物一〇ポイント高、先限九乃至一一高、印棉六八留比高であつたため、大阪三品の初立會相場は様變りの商狀を傳へ加ふるに舊年末來採算割に追込まれてゐたゞけに急騰を演じ當限二圓六十錢高、中限三圓方、先限三圓五十錢方高と寄付、引けは當中限小綻り先限呆けた、當市は先高氣分濃厚ながら新就は見送つてゐる

銘柄	約定期	値段	數量
福助	六月限	二一七〇	一〇

出來高　十梱

新甫初感
鞍山松尾久一氏談

新甫大發會は靜穩裡に初まり大引は些か不冴の商況であつた、まだ屠蘇氣分の覺めやらず休日控へに安新甫であつた、却說本年の株界展眺はインフレの續行、低金利の徹底、高度利潤の繼續――然して大きくは新興日本の飛躍等に想び起す時は相當の期待をかけて然る可しと想はれるが、株界は如上の實際問題よりも仕手關係及び人事に左右される所が多であるから細心の注意と周到なる用意が肝要である

新甫呆けたのは、舊冬よりの換金處分の餘波が新春に若干持越されたと、政局に一抹の不安が漂ふに因り積極的に仕手の出動せざるもの觀測が妥當であらうが投資家の態度としては高い時卽ち買ひ安い時、人氣について買ふより買ひ難び昨今の安値時代に大計を樹てゝ買へば、先ず失敗は尠ないと想はれる此の低迷時代こそ投資家の一考される好機であらふ。

奥地市況

▲奉天奉票對金票	現物	五、五〇	
▲奉天鈔票對國幣	現物	一〇八、七〇	一〇七、七〇
▲奉天國幣對金票	現物	一〇七、九〇	一〇八、九五
	先限	九二、九〇	九二、八〇
▲開原國幣對金票	現物	一〇七、八〇	一〇七、八〇
▲新京國幣對金票	現物	一〇七、八〇	一〇七、八〇

上海爲替情報

【上海四日發】海外材料保合のため標金寄附氣配不變なりしも一支那銀行は金融逼迫のため依然金利高く爲替近物には賣物多く買物薄後北方筋の圓賣添へもありてヂリ強となり爲替軟化大傾向標金乗替鞘十五弗見越しにて買屋の投げもあり氣配惡く後賣物一服人氣落付いた